

にのみや

『二宮駅北口駅前広場 にオリーブ植樹』

(平成25年2月22日撮影)

東日本旅客鉄道株式会社横浜支社から、オリーブなど111本が寄贈され、駅北口駅前広場にオリーブを植樹しました。

※16ページに駅北口駅前広場関連記事



●今月の紙面

- 人工リーフ(海岸保全施設)を整備します……②・③
- 町内小学校英語教育状況報告……⑧
- 町長とのふれあいトーク結果概要……④・⑤
- 健康長寿の町を目指して……⑪
- 災害時の応援協定一覧……⑥・⑦
- 北口駅前車両交通規制変更……⑯

ホームページアドレス <http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/>

高波から梅沢海岸の背後地を守るために

人工リーフ（海岸保全施設）を整備します



平成19年の台風により被害を受けた西湘バイパスの災害本復旧工事が、平成24年3月に完了しました。それに伴い、不要となった消波ブロックを再利用して、二宮漁港海岸（梅沢海岸）の背後地を防護する人工リーフ（海岸保全施設）を整備します。

漁業の現状

町の漁業は、相模湾という好漁場を目先にして、古くから地引網、定置網、一本釣、刺網などの漁業が営まれてきました。

しかし、漁港が未完成のため、町の主力漁業である定置網の大型漁船は、10kmほど離れた小田原漁港に停泊・水揚げしています。



定置網漁のようす

また、地引網や刺網などの小型漁船も、出漁日数が制限されるなど厳しい労働条件のもとでの漁業活動を余儀なくされています。

漁港整備の経緯

漁業者の厳しい労働条件を改善するため、二宮漁港は昭和63年に第1種漁港の指定を受け、平成元年に工事着手、9年かけて現在の形まで整備しました。

しかし、その後平成13年の定置網倒壊や、平成19年の台風、海岸の侵食問題深刻化など、自然的要因に阻まれ、完成を見ないまま現在に至っています。

高波の被害

二宮漁港海岸背後地（駐車場や住宅地など）への高波による被害は甚大で、越波被害や大量の漂流物など、漁業以外にも支障をきたしています。



平成19年台風時の被害



高波への対策

こうした背後地の被害を軽減するため、中日本高速道路(株)の協力を得て、西湘バイパスの災害本復旧工事で使用していた消波ブロックを再利用し、人工リーフを整備することになりました。

これにより、背後地に住む方々の生命と財産を守ります。

また、人工リーフには、背後地や船舶・漁業施設を守るだけでなく、漁礁としての機能にも期待しています。

『人工リーフ』ってナニ???

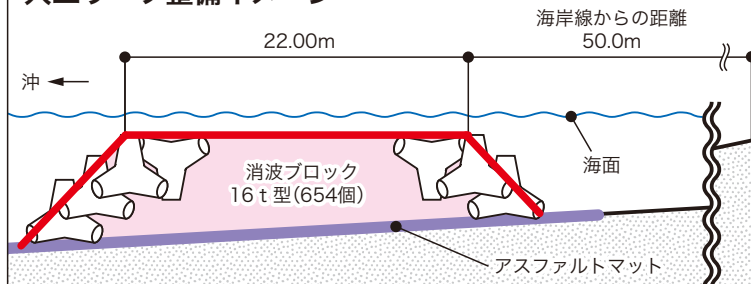
人工リーフとは、自然のサンゴ礁をまねた構造物で、海岸付近に沈め幅広い浅瀬を作る海岸保全施設です。

波は、水深が浅くなると砕けてその勢いを失う性質があり、人工リーフによって波が砂浜に到達する前に沖合で弱められます。

それにより、背後地を高潮・高波から防護し、海岸侵食の防止・軽減および海浜の安定化が図れます。

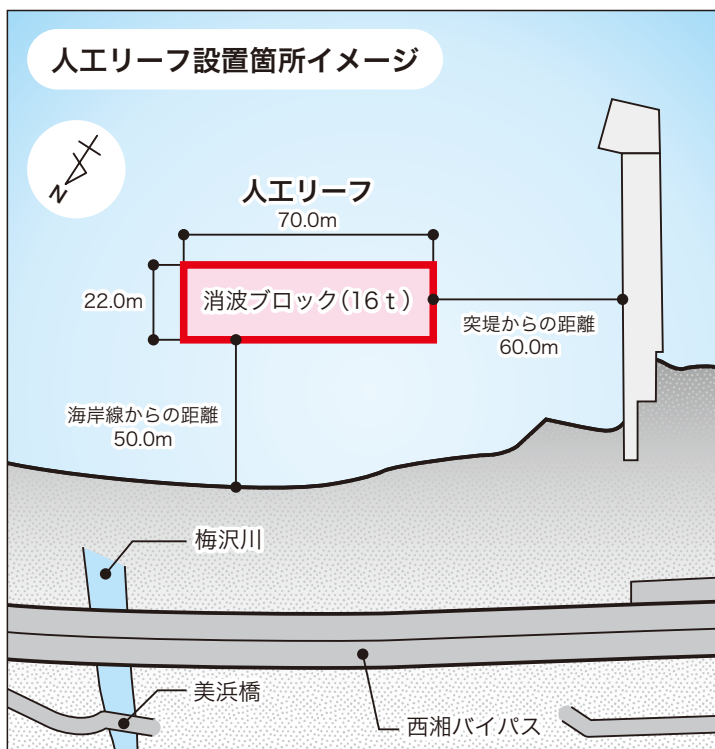


人工リーフ整備イメージ



計算では、高波時の波の高さが、整備前よりも最大で3割程度軽減することが見込まれています。

人工リーフ設置箇所イメージ



人工リーフ整備に向けて

当初、二宮漁港海岸(梅沢海岸)の堤防が無い区間200mすべてを防護するために必要な、長さ100mの人工リーフ整備を計画しました。

平成24年10月5日には、地域住民や漁業者、隣接海岸管理者などの意見を聞くため、懇話会を開催しました。

懇話会では、背後地を守る人工リーフの必要性について理解は得られましたが、地引網の存続を望む意見が多くあげられました。

その結果、できる限り背後地を守りつつ、地引網など漁業との調和を図れるよう、長さを70mに決定しました。

※懇話会の詳細は、ホームページに掲載しています。

人工リーフ整備後



今後、人工リーフが周辺海岸へ及ぼす影響などについても検証していきます。

また、人工リーフ以外にも消波ブロックを再利用した漁業振興策として、梅沢海岸と袖が浦海岸の中間地点の沖合約300m付近に、刺網漁などの漁獲高向上を期待した人工漁礁(魚のすみか)を設置します。

人工リーフ・人工漁礁とともに、整備完了時期は平成25年内を予定しています。

問い合わせ

経済課産業振興班

町長とのふれあいトーク

町長が直接話し、皆さんと意見交換しました！

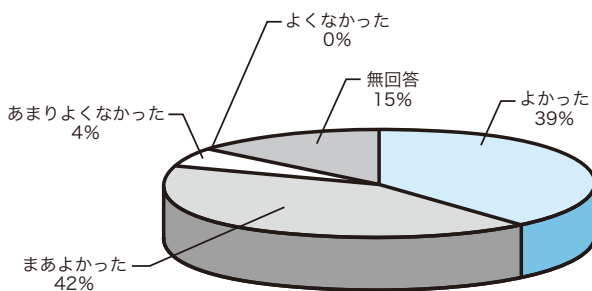
平成19年度から始まった「ふれあいトーク」も6年目になります。今回は、各地区13か所、計381名にご参加いただきました。

また、各地区でのふれあいトークのほか、若者（高校生から29歳まで）や、新たに中学生（2校の全校生徒）とも、ふれあいトークを開催しました。



参加者アンケート結果

参加者アンケート結果
「町長とのふれあいトーク」について



ふれあいトーク終了後に提出いただいたアンケート結果では、「よかった」「まあよかった」の回答が多く、「町長から直に話が聞けて良かった」「分かりやすい説明だった」などの意見もありました。

町長からの話

ふれあいトークでは、まず、町長から「町の現状」や「町の施策」などについて説明しました。

◆オリーブ栽培の普及

オリーブは、農家の皆さんが困っている鳥獣被害にあわず、また、5〜6年で収穫できるようになるため、耕作放棄地に植えて産業にしたいと考えています。将来的には、近隣自治体にも声を掛けてオリーブオイルなどを湘南のブランドにしたいと思っています。

◆町道27号線の時間帯一方通行の解除と駅前広場の

◆ふたみ記念館

多くの人に「二宮出身の異才の洋画家」二見利節の作品をご覧いただくため、社会福祉協議会へ招待券を配布しました。

二見画伯の作品は、多くの人の手に渡っていました。ふたみ記念館の設立により町へ寄付されるようになり、貴重な作品が多く集まってきています。

◆東京大学果樹園跡地

活用方法について、皆さんから意見をいただき、委員会を立ち上げて検討を始めています。おおむね5年間は暫定的に利用し、その後、本格的に活用していきます。

約12,000坪の広大な土地なので、皆さんが有効に活用できるよう慎重に検討しています。

◆コミュニケーションバス
利便性の向上を図るため、路線などの見直しや新たな公共交通の導入について検討しています。



意見交換

皆さんから多くの要望や意見、質問をいただきました。その一部を紹介します。



坂本町長

町のPRと人口減少
住みやすく、環境も良いです。通勤でJRを利用しても座ることができます。もっと住みやすい町だということもPRする必要があります。と思います。

町長 菜の花の時期には、多くの方が訪れるようになりました。少しずつですが町の存在感が出てきたと思います。
日本の人口が減少過程に入ると推計されているなか

で、二宮町だけの人口を増やすことは至難の業です。財政も豊かではありませんが、知恵を出して小さくても自立できる町になるよう取り組んでいます。

建物の高さ制限を設けて、20mを越える建物は建たないよう規制しました。

町にふさわしくない建物を建てて人口を増やすのは、住んでいる人にとっても良いことだとは思いません。町のPRにも力を入れていくと同時に、子育てしやすい町にしていききたいと考えています。

防災行政無線
防災行政無線があまり聞こえません。何か対策を立てていただけませんか。

町長 通常の放送は、音量を絞っています。緊急時は最大音量で放送します。

聞きづらい場所は、担当部署が調査に行きますが、緊急地震速報などの時間的余裕が無い場合、国などから自動的にサイレンとメッセージが交互に放送されます。

ごみ処理について

将来、ごみ処理はどうしていくのでしょうか。

副町長 二宮町単独で、ごみ処理をすることは困難であるため、平塚市と大磯町との広域処理を進めています。

平塚市は、焼却などを受け持ち、大磯町では生ごみの資源化と平塚市のし尿処理を受け持つことになっています。

二宮町は、^{せいで}剪定枝の処理やリサイクルセンターなどを受け持ちます。

剪定枝資源化施設は、工業団地の中に用地を確保しており、平成25年度に着手して、平成27年度から稼働する予定です。



宮戸副町長



内海教育長

いじめ問題

いじめはありますか。また、教育委員会はどのような対応をしていますか。

教育長 小さいいじめは、どの学校にもあると思います。悪口を言ったり、ついたり、喧嘩をするなどはありませんが、早い段階で解決に努めているため、二宮町に大きないじめはありません。

学校では、常日ごろから「どうしたの?」「元気?」など、呼び掛けをすることで、子どもたちの状況をつかんでいます。

また、教員には、説論と愛情により子どもたちに接するよう指導しています。

若者からの意見

各地区でのふれあいトークのほか、若者からも多くの意見をいただきました。

若者とのふれあいトーク

人口を増加させるためには、計画や目標を定める必要がある。

駅前が魅力的であれば、住む人も増えると思う。

中学生とのふれあいトーク

・マスコットキャラクターや、ゆるキャラをつくる。
・吾妻山頂上でイベントを開催する。
・吾妻山にロープウェイやケーブルカーを設置する。



平成25年度も開催します。ぜひご参加ください。

問い合わせ

企画財政課広報統計班

災害時の応援協定一覧

東日本大震災より約2年が経過しました。改めてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。町では、これまでに全国で発生した自然災害を教訓とし、公助の一環として官公庁・民間企業と災害時の応援協定を結び、防災対策を進めています。

●避難生活支援●

皆さんが避難生活を送るのに必要な食料や飲料水、生活必需品、燃料を調達し、皆さんに配給できるよう、地元の大型店舗などと協定を結んでいます。

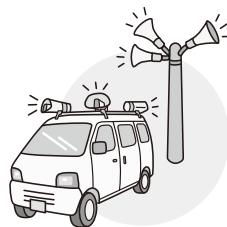
また、避難所における傷病動物の保護・治療、飼料・物資の確保なども考慮して、【神奈川県獣医師会中央支部】と協定も結んでいます。

協定締結先	協定内容
<ul style="list-style-type: none"> 生活協同組合コープかながわ マックスバリュ東海株式会社 	食料、飲料水、生活必需品などの物資調達
<ul style="list-style-type: none"> 合同会社西友 	食料、飲料水、生活必需品などの物資調達 ※会社変更のため、現在協定内容の見直し中です。
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社クリエイト エス・ディー 	おむつ、生理用品、粉ミルクなどの物資調達
<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県企業庁 	他の都区市水道事業体との応急給水支援活動など
<ul style="list-style-type: none"> 杉崎商業株式会社エッソ二宮S・S 有限会社露木商会 	ガソリン、灯油、軽油などの調達
<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人神奈川県LPガス協会 	LPガスや器具の調達
<ul style="list-style-type: none"> 社団法人 神奈川県獣医師会中央支部 	避難所での傷病動物の保護・治療、飼料・物資の確保など
<ul style="list-style-type: none"> 二宮郵便局 	郵政事業に関わる災害事務、援護対策、情報収集(覚書)

●避難所・避難場所●

公共施設などを一時的な避難場所と定めていますが、そのほか町内幼稚園や保育園、社会福祉法人施設などと協定を結んでいるため、下記施設へも一時的に避難することができます。

協定締結先	協定内容
<ul style="list-style-type: none"> 県立二宮高等学校 	広域避難所としての施設利用
<ul style="list-style-type: none"> 梅の木幼稚園 育美幼稚園 めぐみ幼稚園 海の星幼稚園 みどり幼稚園 梅花保育園 二宮保育園 みちる愛児園 	自然災害発生時、一時的な避難場所としての園庭利用
<ul style="list-style-type: none"> 海の星幼稚園 心泉学園 	津波警報等発令時、一時的な避難場所としての園庭利用
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人一燈会 社会福祉法人大磯恒道会 社会福祉法人寿考会 特定非営利活動法人 たすけあいワーカーズ大空 	広域避難所での生活が困難な避難者に対する避難所(施設の状況に応じて、町が調整し選定します)



●医療●

傷病者が多数発生した場合、町内で開業している【中郡医師会二宮班】の医師や【平塚中郡薬剤師会二宮地区】の薬剤師・災害時登録看護師がラディアンに集結し、中央応急救護所の開設、トリアージ(傷病者の治療の優先順位を決めること)や治療を行ないます。

そのほか、中央応急救護所で治療が難しい傷病者については、【東海大学

大磯病院】と協定を結び、東海大学大磯病院に搬送して治療をすることとなっています。



●官公庁との相互応援●

近隣の市町村と、被害が甚大だった市町村へ物資の提供や職員を派遣するなど、相互に助け合う協定を結んでいます。

また、災害時の被害状況を相互に情報交換する協定も結んでいます。

協定締結先		協定内容	
<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県 県内全市町村 		<ul style="list-style-type: none"> ○食料や飲料水、生活必需品の提供 ○応急対策資機材や物資の提供 ○避難、救援、応急復旧に必要な職員の派遣 	
	個別追加協定	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市 ・大磯町 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害応急、復旧対策、被災者に対する住宅のあっせん ○児童生徒の受け入れ、ボランティア支援のあっせん ○り災者への支援物資配給などの共同対応
		・小田原市	ヘリコプター臨時離着陸場の相互利用
国土交通省関東地方整備局		一般・公共土木施設などの被害状況の情報交換	
県内26市町消防本部(消防組合含む)		消防隊、救急隊などの相互応援出動	
<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市 ・秦野市 ・大磯町 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市 ・伊勢原市 	<ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市 ・寒川町 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内在住の他市町職員の避難所への派遣



●応急復旧●

道路や河川などの公共土木施設が破壊された場合を想定し、速やかな応急復旧・復旧をはかるための協定を結んでいます。

協定締結先	協定内容
・二宮建設協力会	道路・河川などの公共土木施設の災害応急工事
・二宮建設工業会	道路・河川などの公共土木施設の災害応急工事、人命救助応急仮設住宅の建設、被災住宅の応急修理など
・西湘管工事業協同組合	上下水道施設などの応急復旧や給水活動
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化設備株式会社 ・株式会社大磯衛生社 ・湘南興業有限会社 	下水道施設の応急対策

●広報活動●

防災行政無線による広報活動のほか、【湘南ケーブルネットワーク株式会社】と協定を結んでおり、発災前の予備情報や発災後の災害情報、町や関係機関が講じた応急対策情報などをメールでお知らせします。

また、町内の被害情報をいち早く収集するため、タクシーから被害状況を収集することを目的として【神奈川県タクシー協会相模支部平塚支社】と協定を結ぶ予定です。

このほか、遺体の安置場所として、【株式会社原香栄堂】と協定を結んでいます。また、棺などの葬儀用品の手配には、【神奈川県葬祭業協同組合】と協定を結んでいます。

さらに、遺体の身元確認作業への協力として、【平塚歯科医師会二宮地区】と協定を結ぶ予定です。

町では、皆さんの避難生活を支援する《公助》のため、さまざまな企業との連携準備をしています。

しかし、《公助》が皆さんへ行き渡るには、一般的に災害発生から3日かかるといわれています。

この3日間を乗り切るためには、各自食料などを蓄える《自助》や、地区で助け合う《共助》が重要です。

また、大規模な災害に備えて家の耐震化や家具の転倒防止を進め、また、発災時には火を出さないよう注意しましょう。

問い合わせ

防災安全課危機管理・くらし安全班

英語教育状況報告

町内の小学校では、コミュニケーション能力の育成に力を注いでいます。その一環として取り組んでいる『英語教育』の実情をお知らせします。

外国語活動の取り組み

平成23年4月から全面実施された『新学習指導要領』により、小学校5・6年生は週1回「外国語活動」の授業時間が設けられています。

町内では、いち早く英語教育に取り組みはじめ、平成14年度から外国人のALT（外国語指導助手）を3小学校へ派遣し、全学年において外国語活動の授業を行ってきました。

ALTによる
年間授業時数
(平成23年度小学5・6年生)

県内1市町あたりの平均	20.5時間
二宮町	37.3時間



ジェフ先生(二宮小・山西小)

ALTの授業

現在、他の市区町村では、「外国語活動」の多くを担任教師1人で行うなか、町内小学校ではALTが毎週2〜3日定期的に来て、英語で授業をしています。子どもたちは、ALTの英語にたくさん触れ、自ら英語を使って表現しようとしています。

ALTとのふれあい

また、ALTは「外国語活動」の時間だけでなく、図工や体育の授業に参加したり、休み時間や給食、清掃活動のときも子どもたちと一緒に過ごしたりしています。日ごろから英語に慣れ親しむことで、言語や文化を体験して理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうという態度を育てています。



マシュー先生(一色小)



ALTの[外国語活動]授業風景

教職員の研修

児童・生徒だけでなく、指導する教職員の知識・技術の向上も図っています。今年度は、各小学校に外国人講師を招き、全教職員が研修を受けたり、小学校と中学校の教職員が外国語活動と英語科の授業をお互いに参観したり、英語教育のあり方などを研究しました。

英語検定料の助成

昨年度、文部科学省は、国際共通語としての英語力向上のため、中学校卒業時に実用英語技能検定（英検）3級程度の英語力を持つことを目安としました。

町では、これまでの英語教育の取り組みの成果を測り、また、さらなる英語の学習意欲の向上を図るために、今年度より中学3年生全員の検定料を助成しています。

現在、グローバル社会が急速に進展するなか、国際共通語としての英語力は子どもたちの可能性を大きく広げる重要な要素です。英語教育の環境整備が、子どもたちが社会に出る際の礎となれば幸いです。町教育委員会では、英語教育のみならず、将来を担う子どもたちのさまざまな教育に力を入れていきます。

問い合わせ

教育総務課指導班



楽しい地域ライフを作る!

地区長連絡協議会

地域の安全・安心・笑顔を守る

「地区長連絡協議会」は町内全20地区の代表者（地区長）により構成される組織で、各地区の課題や成功例などを話し合い、行政を交えての情報交換のほか、町全体として何をすべきか自主的に研究する活動もしています。



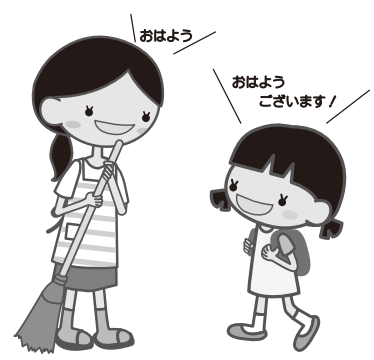
笑顔のあるまちづくり

人間関係の煩わしさから、最近では近所づきあいを敬遠し、自治会に加入しない方が増えている傾向にあるといわれています。

しかし、日ごろから近所の方と顔を合わせていれば、日々の生活の安心と笑顔につながり、ご近所トラブルも少なくなります。

各地区では、そこに住む住人同士でのお祭りやイベントを開催して親睦を図り、結束して特色ある地区になるように取り組んでいます。

安心があるまちづくり



「防犯灯が消えている」「道路が陥没して危ない」など、生活する中での心配事や課題・要望などがあります。地区長はそのような住民の声をまとめ、行政や



地区の自主防災訓練の様子

関係機関と連携をしながら課題解決に向けて活動しています。また、みんなが安全で安心して暮らせる地域とするため、夜間・防犯パトロールや防災訓練なども自主的に展開しています。

自主研究会活動

連絡協議会では、地域活動活性化のため、3つの部会に分かれて自主的な研究をしました。

地域活動研究会

◎全地区の戸数格差に着目して、地域間の格差解消に向けた「地区統合および地区分割」の検討。

◎地区交付金配分の見直し。

地域防災研究会

◎今後予想される大地震や災害について、自分の命は自分で守る「自助」についての検討。

地域集会所施設課題研究会

- ◎児童館や老人憩いの家について
- ◎名称・利用料の統一化についての検討。
- ◎管理経費負担の見直し
- ◎レクリエーションの場としての利用促進（有効活用）の検討。
- ◎地域への移管の検討。

二宮町は

長野県高山村と

交流しています



町では、地区長連絡協議会に長野県高山村との交流事業を委託しています。

7月には高山村の子どもたちが地引網に訪れ、8月には町内の子どもたちが高山村を訪問し「信州高山まつり」に参加しています。人的交流のほか、11月のふるさとまつりでは特産品販売、学校給食のリングなど、経済交流も進んでいます。



高山村での地域間交流事業

問い合わせ

町民課町民協働班

搬送者の傷病程度（平成23年中）

傷病程度	人数
初診時に死亡確認	34
入院3週間以上	92
入院だが重症に至らない	585
入院を必要としない	463
合計	1,174

※消防年報より

搬送者の傷病程度
救急車の出動件数・搬送人員数は、町だけでなく全国的にも増えています。しかし、救急車で搬送された人の半数弱の傷病程度は、入院を必要としない軽症です。



救急車を

上手に活用しましょう！

町では、年々救急件数が増加しており、平成24年中の救急出動件数は1,352件、搬送人員は1,295人と過去最多となりました。
これは、町民の23人に1人が救急隊により搬送されたこととなります。

さまざまな出動要請

症状に緊急性がなくても次のような理由で救急車を要請されることもあります。



- 交通手段がない
- どの病院に行けば良いか分からない
- 便利だから

そのほか、日中は仕事があるなどの理由で救急外来や夜間受診する人もいます。

出動件数増加による問題

町には、現在2台の救急車が配備されていますが、平成24年中に2台とも出動してしまうことが158回もありました。

救急車や救急医療は「限りある資源」です。さらに出動が重なった場合、近隣市町に応援出動を依頼しますが、通常より時間がかかってしまいます。

必要なときは迷わず要請！

救急車の出動件数が増えています。活用には制限を設けるものではありません。重大な病气やけが・激しい頭痛・胸痛など、明らかに普段と異なる症状がある場合は、迷わずに救急車を要請してください。

迷わず、我慢せず

119番通報!!

このような症状がある場合は...

出動!



小児(15歳未満)の症状《周りが気づく症状》

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭をぶつけて、意識がない・出血が止まらない・嘔吐がある
- 激しい咳や呼吸が苦しそう・顔色が悪い
- 激しいおなかの痛みを訴える・嘔吐が止まらない
- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れない
- 食欲がなく意識がはっきりしない
- 便に血がまじっている
- 手足が硬直している
- 全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

大人の症状《自分で気づく症状》

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 片方の腕や足に力が入らない
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 突然の激しい頭痛・高熱
- 胸や背中に突然の激痛・痛む場所が移動する
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられる・圧迫される
- 持続する激しい腹痛
- 突然の激しい腹痛・吐血や下血

問い合わせ

消防課警防班

(☎ 72・0015)



健康長寿の町を目指して

平成23年度より3か年計画で、心と身体の健康チェックリスト『健康自立度調査』にご協力いただいています。今年度は、7月に二宮・富士見が丘・松根の65歳以上で介護保険認定されていない方を対象に実施し、多くの方から回答をいただきました。

健康自立度調査とは

運動や心身の機能低下のサインを発見し、効果的に介護予防・健康づくりに生かすことを目的に実施しています。

調査で身体機能低下のサインが見られた方(二次予防事業対象者)には、町の『若返り塾』をご案内しました。

健康自立度調査結果概要

対象者数	3,078人
回収数	2,655人
回収率	86.3%
二次予防事業対象者数	712人
二次予防事業対象率	26.8%



若返り塾のようす

若返り塾

案内させていただいた方に参加いただき、運動・栄養管理・認知症予防などの複合教室を12日間に渡り実施しました。

参加者からも好評で、『若返り塾』終了後も、希望者は介護予防活動グループなどに参加し、介護予防・健康づくりを継続しています。

平成25年度は、山西・川句・中里の方を予定しています。

脳の健康度テスト

ファイブ・コグ検査

を受けてみよう!

町では、今後ますます増加が予想される認知症の予防プログラムを始めています。

近年、認知機能を把握するための『ファイブ・コグ検査』が注目されています。

『ファイブ・コグ検査』とは

東京都健康医療センター研究所監修の検査方法で、認知症を発症していない一般高齢者を対象に実施し、軽度認知障害や、健康な高齢者の認知機能の変化も敏感に測定できる検査です。



ファイブ・コグ検査のようす

検査方法

DVDを見ながら簡単なペーパーテストを実施し、各項目により次の機能を評価します。(認知症の検査ではありません)

- ① 記憶力
- ② 注意力
- ③ 言語力
- ④ 視空間認知力
- ⑤ 思考力・手先の運動機能

この検査は、65〜84歳までの高齢者のデータに基づいて基準化されているため、該当する年齢層の高齢者に対して正確な評価ができません。

※検査は、平成25年6月以降に随時開催する予定です。広報にのみやお知らせ版などでご確認ください。

検査結果

検査結果は、後日受検者の皆さんへ報告します。また、認知症予防『脳いきいき講座』をご案内しますので参加しましょう。

脳いきいき講座

講座内容

旅行や料理、ウォーキングなど、高齢者に人気があるテーマで全5回のプログラムメニューを実践します。自分が好きなことを考え計画することは、脳にとっても良い刺激となります。

結果、認知機能の維持や改善などが期待されます。この講座は、今年度に町で養成したファシリテーター(支援者)のもと、6〜8人程度の小グループでの活動となります。

認知症は、早期診断・早期治療がとても重要です。自覚症状が出る前から検査を受け、早期発見に努めましょう。

また、意識して脳を使うことで、認知症を予防したり、発症を遅らせる事ができます。楽しく脳を使って活性化させましょう。

問い合わせ

高齢障がい課高齢者支援班

連載

知っ得！メタ防通信 平成24年度 健診受診状況

7月から10月に実施した特定健康診査、健康診査を受診した方は3,563人で、前年度と比較して受診率が増加しました。

特定健康診査・健康診査 受診状況

	平成24年度	
	40～74歳	75歳以上
対象者数	6,410人	3,722人
受診者数	2,260人	1,303人
受診率	35.3%	35.0%
前年比率	1.7%増	5.1%増

健診結果提供へのお礼

今回からの試みとして、個人や職場で実施した健診結果の提供をお願いしたところ、現在30名の方から提供いただきました。

今後も受診率向上、健康管理の一助として継続してまいりますのでご協力お願いします。

生活習慣改善のために

健診を受けた方全員に受診医療機関で結果を説明し、パンフレットを配布しました。

また、特定健康診査（40～74歳）には、健診結果に応じた保健指導があります。メタボのリスクが出てきた、メタボのリスクが高いと判定された方には、生活習慣を改善するための個別支援を実施しています。

生活習慣病は、放置すると重症化して心疾患や脳血管疾患につながります。

毎年受診することで早期発見・早期治療ができます。健康管理は、継続することが大切です。必ず毎年受診しましょう。

問い合わせ

保険予防課健康づくり班
(☎71・7100)

趣味をみんなでも楽しみませんか

二宮町文化団体連盟活動紹介

コールプランタン

(合唱連盟)



活動日

毎週木曜日10時～12時

活動場所

ラディアン マルチルーム1

会費

4,000円/年

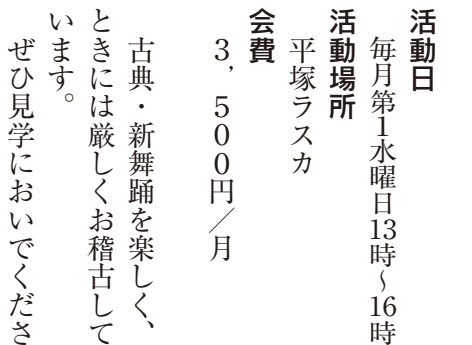
(演奏会積立金別途1,000円/月)

年2回の合唱祭に向け、熱心なご指導のもと明るく楽しく練習中です。

見学にいらしてください。

燐の会

(舞踊連盟)



活動日

毎月第1水曜日13時～16時

活動場所

平塚ラスカ

会費

3,500円/月

古典・新舞踊を楽しく、ときには厳しくお稽古しています。

ぜひ見学においでください。

将棋クラブ



活動日

① 定例会

(毎週土曜日13時～17時)

② その他各大会や指導など

活動場所

① 町民センター

会費

正会員：2,000円/年

※80歳以上、中学生以下は無料

子どもから大人まで、世代を超えて楽しめる『ふれあいの場』ならびに生涯学習として将棋の普及に努めています。(初心者大歓迎)

問い合わせ

生涯学習課生涯学習班
(☎72・6912)



庁用車広告の募集



広告掲載イメージ

● 広告掲載方法

広告を表示したマグネットシートによる表示
※表示するマグネットシートは、広告主負担で作成していただきます。

● 広告掲載料金

1台につき
1か月3,000円
※広告は、車両の左右両面に掲載します。

● 申込方法

所定の申込用紙に広告案を添えて公共施設課へ提出（随時受付中）
※広告内容やデザインについて、町や県の審査があります。

● 申込書配布場所

・公共施設課窓口
・町ホームページ

● 問い合わせ

公共施設課財産管理班

町内外を走る町の庁用車を使って、事業の広告を試みませんか。

● 広告車両

軽ワンボックス・普通バンタイプなど

● 広告規格

縦50cm×横70cm以内

● 広告掲載期間

3か月～最大12か月

みんなで作ろう 安心の街



大磯警察署だより

《 車上ねらい・部品ねらいに注意!! 》

車上ねらい・部品ねらいの多くは、自宅周辺の駐車場で被害にあっています。
長期間放置せず、時々確認してください。



月間犯罪発生状況

種別	1月
空き巣	2
事務所・出店・学校荒し	1
車上ねらい	1
オートバイ盗	2
自転車盗など	7
部品ねらい	2
その他の窃盗	4
その他の刑犯法	1
合計	20件

《防犯のポイント》

- 短期間でも必ずキーを抜いてドアロックをしましょう。
- 車内に貴重品を放置しないようにしましょう。
- 警報ブザーを活用しましょう。

☎ 大磯警察署 (☎72-0110)

町の人口 (平成25年2月1日現在)

総数 29,210人 (-54)
男 14,174人 (-16)
女 15,036人 (-38)
世帯数 11,473世帯 (-17)

() 内は前月比

※平成22年国勢調査確報値を基礎にしています。

資源ごみの売却単価と処理費用 ～目指せ！可燃ごみ50%削減～

	1月分	
	量	処理費用
毎日出るごみ (可燃ごみ)	436,530 kg	15,647,283 円
資源ごみ	剪定枝等	12,005 kg 192,080 円
	古紙・布類	128,360 kg 0 円
	空きビン	20,910 kg 22,980 円
	金属類	16,350 kg 515,025 円
	樹脂類①②③	62,275 kg 3,604,796 円
	合計	239,900 kg 4,334,881 円

前月との比較	
量	処理費用
-9,470 kg	-859,107 円
-38,935 kg	-622,960 円
-50,060 kg	0 円
4,930 kg	-1,620 円
-7,640 kg	-240,660 円
8,675 kg	838,082 円
-83,030 kg	-27,158 円

平成18年度 同期比較	-23.5%
売却価格…町の収入	
今月	前月との比較
0 円	0 円
1,007,950 円	-407,640 円
11,430 円	3,460 円
87,149 円	-37,484 円
6,833 円	-657 円
1,113,362 円	-442,321 円

1~2月の思い出 フォトピックス



かながわ駅伝

2月10日(日)



中崎幹大さん(釜野)

第67回かながわ駅伝 町村の部順位

順位	町村名	総合タイム	前回順位
1	愛川町	2:51:46	3
2	箱根町	2:53:21	5
3	葉山町	2:53:31	2
4	開成町	2:54:44	6
5	中井町	2:57:12	8
6	二宮町	2:57:33	7

良い天候の中、第67回市町村対抗『かながわ駅伝』競走大会が開催され、二宮町を含め30の県内市町が参加しました。

健闘が功を奏し、町村の部6位入賞、全体で24位と好成績を収めました。その中でも、第1区の小坂太我選手(二宮中3年)が区間4位、第2区の田中健介選手(中町)が区間9位と、若い選手の活躍が目立ちました。



第59回文化財防火デー

1月24日(木)

1月26日の防火デーに先駆け、大応寺で寺宝の搬出訓練や、消防隊による消火訓練を実施しました。

また、隣接する梅花保育園も避難誘導・消火訓練・通報訓練を行いました。



広告

新聞はASA二宮へ

朝日新聞・神奈川新聞・東京新聞・日刊スポーツ他

広告折込料金は、**1,000枚で3,675円**から!!

広告チラシのデザインから印刷まで、お気軽にご相談ください。

チラシの全戸ポスティングも承ります!!

お申し込み・お問い合わせ

ASA二宮
TEL:0463-71-1157 中郡二宮町中里 988-5

広告

歓送迎会に圓山の懐石べんとう

ご卒業・ご入学のお祝い、
歓送迎会など、これから
迎える新しい季節の始めは
圓山の本格京懐石料理で



お届け専門
年中無休

京の味 圓山

TEL (0463)71-4919

中郡二宮町松根 6-15 URL:www.kyounoaji.com



吾妻山菜の花ウッチャン

1月12日(土)~
2月11日(月)

吾妻山公園の早咲き菜の花を楽しむために、多くの観光客が訪れました。

また、スタンプラリーや地場産品販売などのおもてなしイベントも大好評でした。



約45,000株の菜の花が
多くの観光客をお迎えしました



よさこいパレードでは、20団体595名が
新春の梅沢旧東海道を華麗に舞い踊りました

徳富蘇峰記念館梅園の野点では
おいしい抹茶が振る舞われました



多くの方がふたみ記念館を訪れ、
二見利節の絵画を堪能しました

徳富蘇峰生誕150周年に
「くまモン」も駆け付けました



地場物産展も多くの方で賑わいました

広告



26年成人晴着 新柄振袖展

HP <http://miyabikimono.jp>

二宮高校前
振袖の館

みやびきもの

二宮町一色1313-17 ☎0463-72-2992



平成25年4月1日より 北口駅前車両交通規制が変わります。

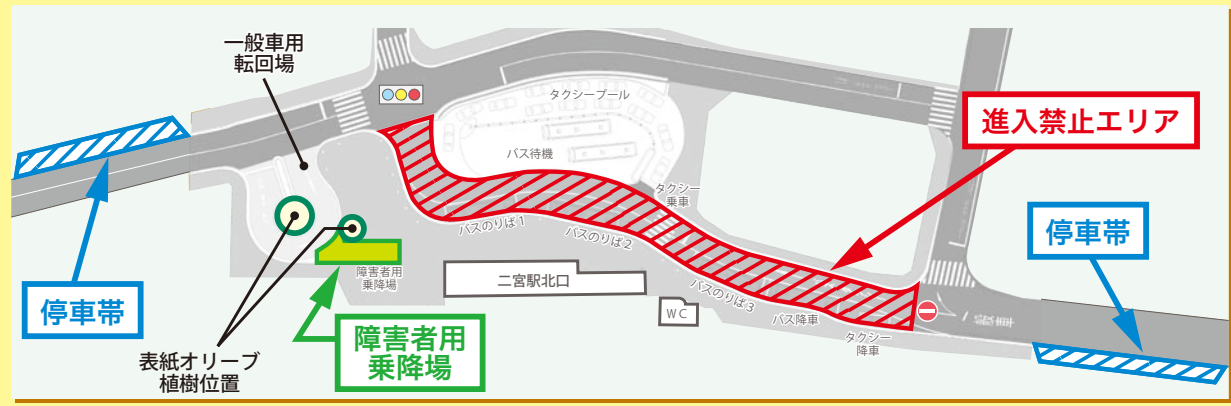
3月末で、駅北口駅前広場整備工事と町道27号線(二宮小学校南側道路)の拡幅工事が完了します。それに伴い、北口駅前の車両交通規制が大きく変わりますのでご注意ください。

変更点① 町道27号線の時間帯進入禁止が解除されます。

現在の時間帯進入禁止(平日7~9時、12~16時)が解除され、いつでも進入できるようになります。また、Uターンするための転回場ができます。
※転回場は一方通行で、駐停車禁止です。

変更点② 北口駅前広場へ一般車両が進入できなくなります。

北口駅前広場は、路線バス・タクシーを除き車両の進入ができなくなります。



停車帯で乗降してください

駅の西側と東側の道路に停車帯を設けていますので、そちらで乗降してください。
なお、停車帯は片側車線にのみあります。
停車帯以外で駐停車すると、他の車両通行の妨げとなるのでご注意ください。
※障害者の方は、転回場内に乗降場がありますのでご利用ください。

二見利節画伯の作品紹介

「瀬戸内の家並」(1972年制作)
縦53cm×横74cm
技法：油彩、材質：キャンバス

画肌は、岩のように感じ、力強いタッチで描かれています。
しかし、画面全体は、軟らかな色彩で暖かな空気を感じさせる、日本的な絵です。(画家 森田はじめ)



図 二宮町ふたみ記念館 (☎70-3210)